

2016年3月期 第1四半期決算の概要

2015年8月6日

IBJ
LEASING **興銀リース株式会社**

本資料には現時点での将来の予測数値が含まれておりますが、実際の業績は様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。

また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的とするものではありません。

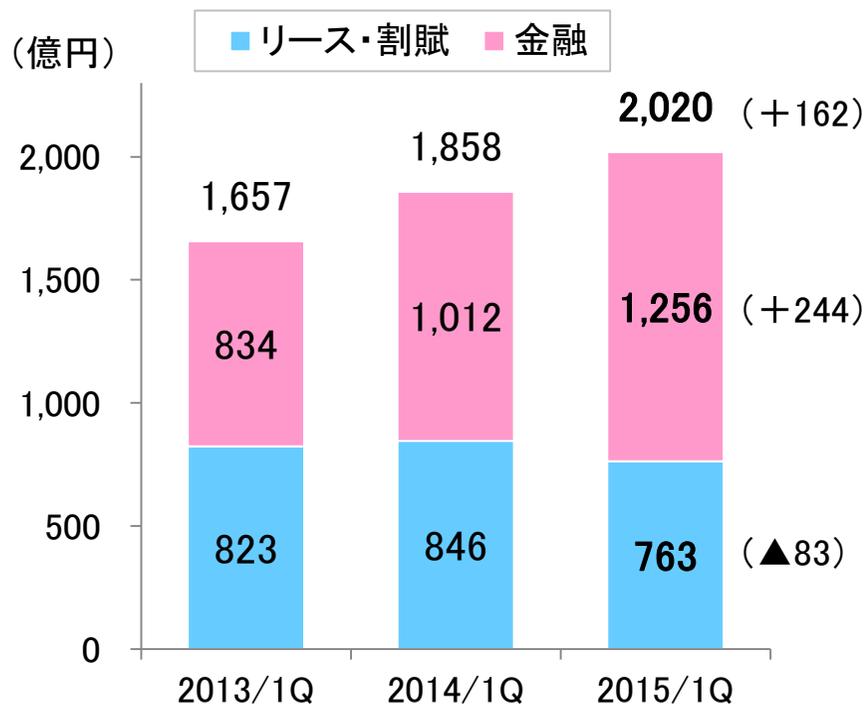
- 資産の積上げにより利回り低下をカバーし、差引利益は前年同期比微減(▲0.2%)
- 信用コストは引き続き低位にとどまり、1億円の引当戻入
- 各段階利益は通期予想に対して概ね順調な進捗

連結P/L (億円)	2013年度 1Q	2014年度 1Q ①	2015年度 1Q ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①	通期予想 <進捗率>
売上高	868	846	807	▲39	▲5%	<23%> 3,550
差引利益	111	107	106	▲1	▲0%	—
(資金原価)	(16)	(16)	(16)	(0)	(+2%)	—
売上総利益	96	91	90	▲1	▲1%	—
(一般経費)	(48)	(49)	(49)	(0)	(+1%)	—
営業利益	58	46	41	▲5	▲9%	<25%> 169
経常利益	60	48	43	▲5	▲9%	<25%> 176
(償却前経常利益)	(49)	(44)	(43)	(▲1)	(▲3%)	—
(信用コスト)	(▲10)	(▲4)	(▲1)	(+3)	(+84%)	—
四半期純利益	36	29	※ 27	▲2	▲7%	<24%> 115
営業資産残高	12,572	13,269	14,486	+1,217	+9%	—

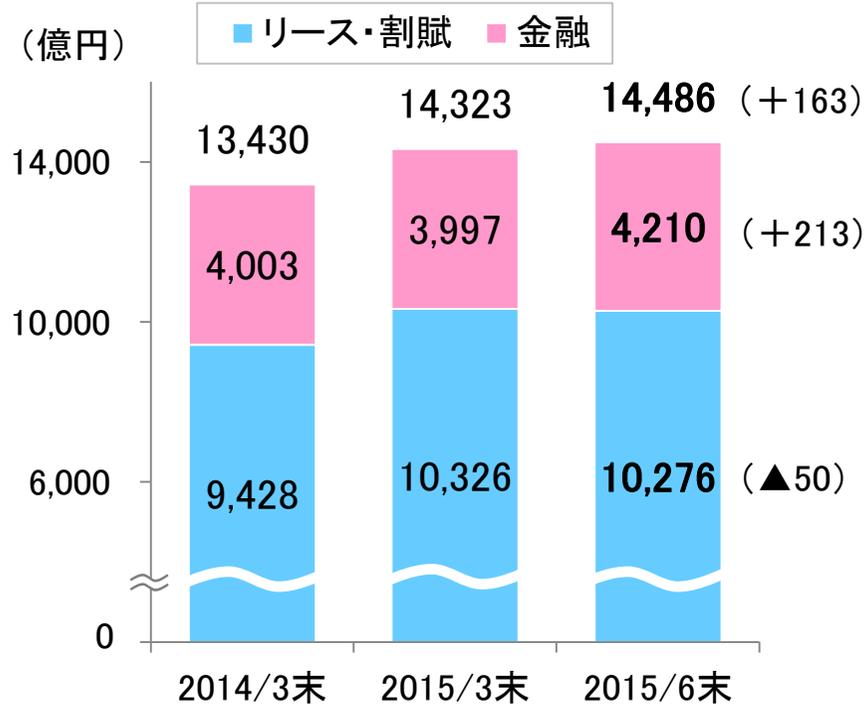
※親会社株主に帰属する四半期純利益の金額を表示

- 【契約実行高】は金融の増加により前年同期比+9%
- 【営業資産残高】は前期末比1%増加し、過去最高を更新

契約実行高



営業資産残高



- 契約実行高は、不動産リース案件が1Qには入らなかったため前年同期比減少となるも、各分野とも順調に進捗
 - [産業・工作機械]は大企業向けの設備投資案件が引続き堅調
 - [情報通信機器]は大手通信事業者の設備投資を捕捉し大幅増
 - [医療機器]は消費税増税による反動減から回復

機種別契約実行高

(億円)	13年度 1Q	14年度 1Q	15年度 1Q	増減額(率)	業界 機種別 増減率*
産業・工作機械	192	153	182	+29 (+19%)	(+75%)
情報通信機器	271	102	173	+71 (+70%)	(+19%)
輸送用機器	66	86	107	+21 (+25%)	(+14%)
土木建設機械	83	102	67	▲35 (▲34%)	(▲8%)
医療機器	54	38	67	+29 (+77%)	(+58%)
商業・サービス業用機器	61	86	78	▲8 (▲9%)	(+9%)
事務用機器	30	23	27	+4 (+20%)	(+11%)
その他	66	257	61	▲196 (▲76%)	(+21%)
不動産リース	4	198	8	▲190 (▲96%)	
合計	823	846	763	▲83 (▲10%)	(+22%)

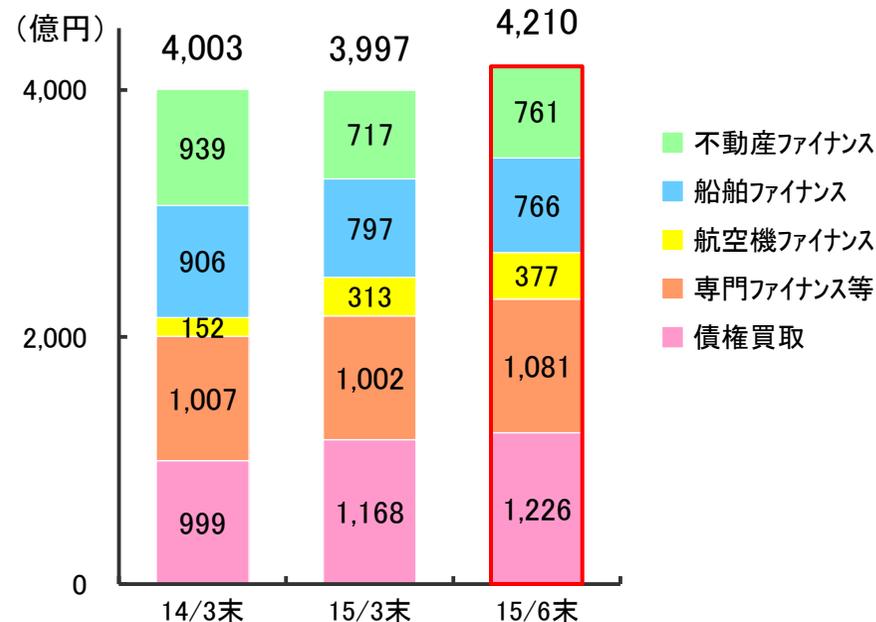
* リース事業協会公表データを基に作成

- 多様な金融ニーズを積極的に捕捉し、実行高・残高ともに伸長
 - 大企業のニーズ等に対応し、債権買取、専門ファイナンスは堅調に推移
 - 航空機ファイナンスは案件ソーシングルートとのRM強化により取組み拡大
 - なお、不動産ファイナンスは大手不動産会社のブリッジ案件等、対象を絞って取組み

契約実行高

(億円)	13年度 1Q	14年度 1Q	15年度 1Q	増減額(率)
債権買取	633	815	954	+139(+17%)
専門ファイナンス等	133	91	134	+43(+47%)
航空機ファイナンス	21	52	66	+14(+27%)
不動産ファイナンス	9	22	76	+54(+246%)
船舶ファイナンス	39	31	25	▲6(▲18%)
合計	834	1,012	1,256	+244(+24%)

営業資産残高



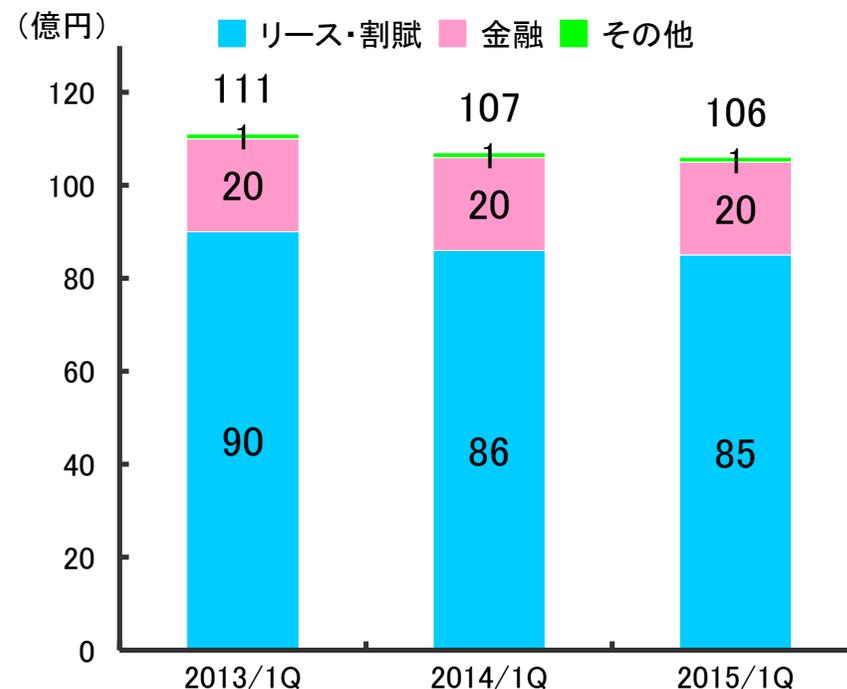
■ 差引利益は、利益率低下による影響を営業資産の着実な積上げにより打ち返し、前年同期比微減の106億円

運用利回り

	13年度 通期	14年度 通期	15年度 1Q	増減
差引利益率	3.30%	3.00%	2.95%	▲0.05pt
資金原価率	0.49%	0.46%	0.45%	▲0.01pt
売上総利益率	2.81%	2.54%	2.50%	▲0.04pt
営業資産 (平均残高、億円)	13,031	13,877	14,405	+528

(注) 15年度1Qの各率は年換算値
 差引利益率＝差引利益÷営業資産(平均残高)
 資金原価率＝資金原価÷営業資産(平均残高)
 売上総利益率＝売上総利益÷営業資産(平均残高)

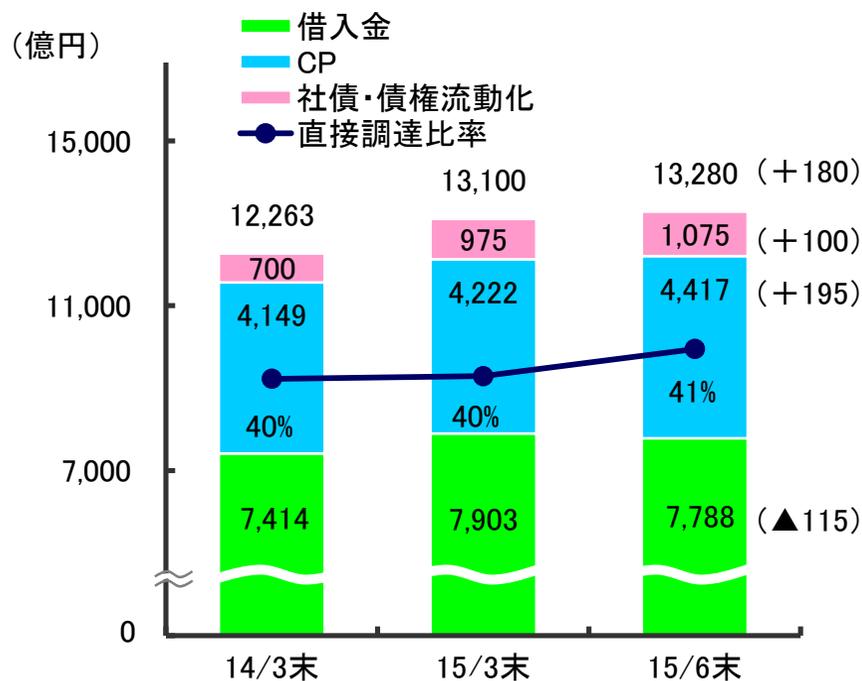
差引利益



有利子負債・純資産

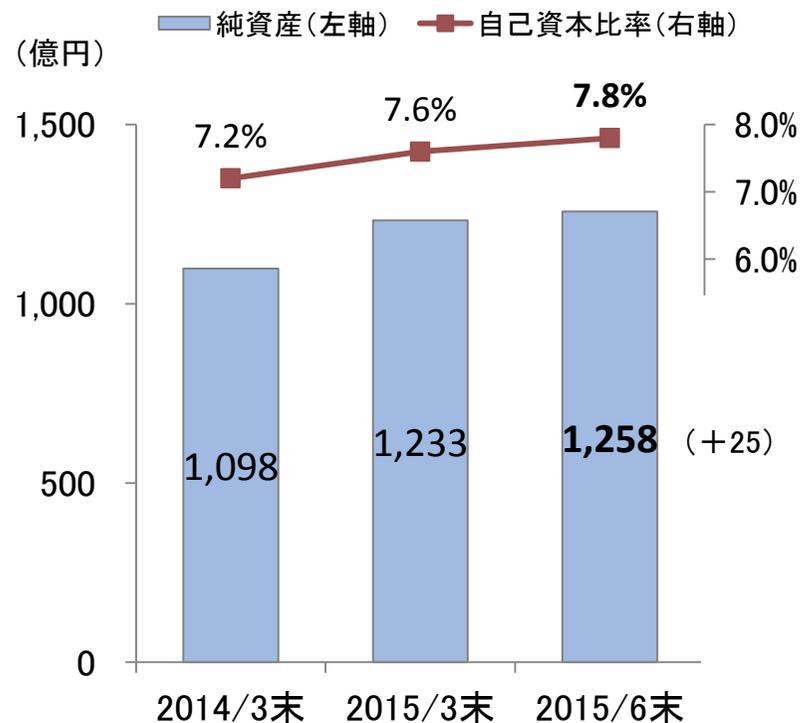
- CPや社債の発行等により良質な資金の確保につとめ、資金原価を抑制
 - 第6回普通社債を100億円発行(3年債、クーポン:0.151%)
- 利益積上げ等により純資産は25億円増加、自己資本比率は7.8%に

有利子負債残高



(億円)	14/1Q	15/1Q
資金原価	16	16

純資産・自己資本比率



- 1Q決算は概ね計画通りに進捗、目標達成に向け営業面・収益面ともに順調なスタート
- 2015年度の年間配当金(予想)は4円増加の60円と14期連続増配予定

(億円)	2014年度 (実績)①	2015年度 (予想)②		増減額 ②-①	増減率 ②/①
		1Q実績	進捗率		
売上高	3,537	3,550	807 23%	+13	+0%
営業利益	179	169	41 25%	▲10	▲6%
経常利益	190	176	43 25%	▲14	▲7%
当期純利益	111	* 115	* 27 24%	+4	+3%

年間配当金	56円	60円	+4円
中間配当金	28円	30円	+2円
期末配当金	28円	30円	+2円
配当性向	21.4%	22.3%	

※親会社株主に帰属する当期純利益の金額を表示